



# いい顔いい声いい心

2025・7・4（金）

VOL. 8

文責：校長 野田浩司

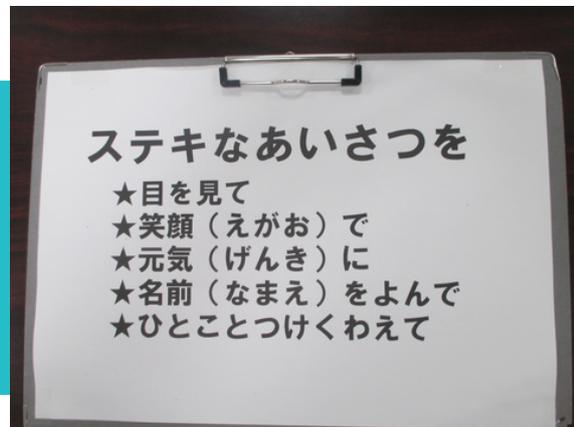


## 教育週間が終わりました。

先週の土曜日から始まった教育週間が終了しました。ご多用な中、多数の保護者の皆様、地域の皆様にご来校いただき、子供たちの学びの様子を見ていただきました。ありがとうございました。

長崎県では、過去、5月から7月のこの時期に、子供が子供の命を奪ったり、子供が自らの命を絶ったりと、とても痛ましい出来事がありました。そこで、今後このようなことが起こらないようにとの願いを込めて、平成16年からこの時期に教育週間を設定し、命の大切さについて考えたり、学校を公開して保護者や地域の方々に学校の様子、子供たちの様子を見てもらったりするようになったという経緯があります。家庭・地域と学校が連携した取組等を一層充実させることにより「いのちを輝かせて生きる心豊かな長崎っ子」の育成に今後とも努力していきたいと思えます。

6月30日（月）の全校集会では子供たちにはこの経緯を話した後に、日頃の生活から相手意識を持ち、思いやりのある言葉かけや行動をしようと呼びかけました。その第一弾として「あいさつのレベルアップ」に取り組んでいます。写真のようなボードをもって朝の挨拶運動に立っていますが、子供たちそれぞれにボードを見て意識するポイントを考え、素敵な挨拶をしてくれています。一緒に立哨指導してくださっているオヤジの会の泉さんも「あいさつがよくなってますね」と違いを実感していらっしかったです。このあいさつがやがて習慣となり、学校内だけではなく地域や家庭にも広がっていくことを期待しています。



## しあわせになあれ♪

教育週間の校長講話の後半は「しあわせになあれ」（詩：弓削田健介 絵：松成真理子）の絵本をつかって、名前に込められた思いや身近な人とのかかわりについて考えました。読み聞かせではなく、弓削田さんの歌声に合わせて絵本を見ていくという形をとりましたが子供たちは、歌と絵から思いを感じ取ってくれていたように思いました。YouTubeでも聞くことができますので、興味のある方は「しあわせになあれ」で検索してみてください。とても素敵な曲です。

